

(別 紙)

## 水難事故及び登山・キャンプ等の事故防止留意事項

### I 水難事故の防止について

児童生徒の水難事故の根絶のため、学校をはじめ、家庭、地域社会それぞれが事故防止についての意識を高め、次の留意事項を参考に、実態に即した具体的な事故の防止策を講じるとともに、相互に連携を密にし、協力体制を確立することが重要となる。

<児童生徒>

- 1 水泳や川遊びで河川等にでかけるときは、必ず責任ある大人と同伴で行くようにし、単独または友人同士等では、絶対に行かない。  
また、行先場所、帰宅時間を家人に連絡していく。
- 2 遊泳禁止区域、危険箇所等には絶対立ち入らない。
- 3 河岸の傾斜の急な土手や岩場では、転・滑落する恐れがあるので、絶対に近寄らない。
- 4 湖沼、池、砂利採取跡の水たまり、溜池等、危険の予想される箇所には近づかない。
- 5 体調の悪いときや満腹時、空腹時、激しい運動の直後などの水泳や水遊びは避ける。
- 6 入水前には必ず準備運動を行い、徐々に入水する。
- 7 水泳場では決められた規則を守り、特に、水中での悪ふざけや溺れるまねなどは絶対しない。
- 8 炎天下での長時間の魚釣りや川遊び等はしない。

<家 庭>

- 1 子どもに対する学校側の指導内容を熟知し、絶えず子どもの行動・行先等に関心をはらい、保護者の立場で、その都度適切な注意や監督を怠らないようにする。
- 2 自宅付近の事故発生が予想される危険箇所をよく把握し、そこには子どもを絶対に近づけないよう、厳重に注意しておく。
- 3 危険箇所等については、関係機関等の協力を得て、適切な改善策を講じるよう配慮する。
- 4 子どもの健康管理に十分注意をはらい、水泳の可否を適切に判断するとともに、学校との連絡を密にする。
- 5 水泳は極力プールを利用するよう指導する。

## <学 校>

- 1 児童生徒に対し、危険な状況を適切に判断し、回避するため主体的に行動する態度を身につけさせるよう、十分指導しておく。
  - 水泳の実施できる時期は短いので、計画的に水泳指導を行うなど、積極的に児童生徒の泳力向上に努める。
  - 河川や池、溜池などの危険箇所（流速、水深、汚濁の程度、遊泳禁止の標識等）については、日頃から注意を徹底しておく。

特に、魚とりなど水辺の活動中の転落や、深みに流される事故が多いことを十分注意しておく。
  - 日頃から大雨・洪水警報等の気象情報の把握に努め、天気の変が予想される場合には屋外での活動を控えさせる。また、土砂災害等の発生が予想される危険箇所を把握し、児童生徒を近づけないよう注意をしておく。
  - プール未設置の学校においても必ず指導しておく。
- 2 P T A の会合や広報活動等、機会あるごとに事故の防止について保護者の意識を高め、理解と協力を得るよう配慮する。

特に、児童生徒に対する学校としての指導事項については、保護者にも周知徹底し、協力が得られるよう配慮する。
- 3 同行者が万一事故を起こした場合の迅速かつ適切な行動の仕方について、児童生徒に十分指導しておく。
- 4 児童生徒の行動範囲内にある危険箇所等について、関係機関等と連絡をとりながら、現地を視察するなどの確に把握し、標識や防護柵の整備等、事故防止の具体策が講じられるよう配慮する。
- 5 水泳の指導に当たっては、特に次のような事項に留意する。
  - 水泳指導に先立ち、臨時の健康診断を実施するなど、水泳参加には健康上問題がある者の事前把握に努め、不適者は入水させないようにする。また、入水に当たっては、その都度、健康状態のチェックを励行する。（心臓・腎臓・アレルギーの疾患、感染症等には、特に注意する。）
  - 能力に応じた段階的指導を基本とし、特に、泳力の低い者を対象とする場合には、監視体制を強化するとともに、緊急の事態に即応できるよう、救命具を備えるなどの適切な配慮をする。
  - スタートの指導は、個人の能力に応じた段階的な取扱いを重視し、教師等の指示に従って実施する。また、水深や水底の安全を確かめ入水角度に注意するなど、安全に十分配慮した慎重な指導を行うこと。

- 入水前後の人員点呼並びに練習中の人員掌握を確実に励行する。
  - 指導者は、安全確保のための的確な状況判断と処理能力が要求されるので、関係の講習会、研修会等に積極的に参加し、常に自己の指導力の向上に努めるとともに、正しい救助法、心肺蘇生法を訓練しておく。
- 6 プール管理に当たっては、特に次の事項に留意する。
- 学校プールの事故の中には、プールの排水口、循環浄化装置の排水口に足を吸い込まれて死亡する等の事故が発生している。このような事故を防止するため排水口等には、堅固な格子鉄蓋や金網を設けて、ネジ・ボルト等で固定する（蓋の重みだけによる固定は不可）とともに吸い込み防止金具等を設置し、いたずらなどで簡単に取り外しができない構造とする。
  - シーズン前のプール清掃の際には、排水口等の蓋がネジ・ボルト等で固定されていることや吸い込み防止金具等が設置されていることを確認する。
  - 各学校の実情に即した管理規則の作成や見直しを行い、校内に周知徹底を図って、事故の防止に万全を期すこと。特に、シーズン前には、緊急時の対処の仕方、連絡網等について一見してわかるよう図式化しておくなどの安全対策に配慮する。
  - プールの換水に当たっては、排水に伴う苦情や公害問題が生じないように配慮する。
  - 夏季休業中の水泳指導に当たっては、プールの管理・指導と日直等の校務との兼務は避けるよう計画する。
- 7 水辺におけるスポーツ活動を実施する場合は、特に次の事項に留意する。
- 地元の関係機関等との連絡を密にし、潮流、地形、海底の状況等について、事前に現地調査をするなど、周到な計画のもとに実施する。
  - 引率者や指導者の責任分担を明確にした指導・管理の組織を確立し、指導・監督、保健、救護等が徹底するようにする。
  - 班の編成に当たっては、指導・監督が全員に行き届く程度の人数とし、また、能力差の少ないことを前提に編成する。
  - 集団行動の仕方（集合、整とん、人員点呼の方法等）や非常時の合図等について、予行練習も含めて迅速、確実にできるようにしておく。特に、人員点呼については、履物や用具の利用、バディシステム（二人一組の組をつくらせ、互いに相手の安全を確かめさせる方法）の徹底など、迅速かつ確実な方法を工夫する。
  - 監視は、水中及び陸上の両面から行うよう配慮し、監視区域を分担し合って、死角をつくらぬようにする。

また、児童生徒には、帽子の色、線などで班を区別したりコース分けしたりするなど、人員の行動を把握しやすいよう工夫する。

- 海中にあっては、沖から陸へ向かって、あるいは海岸と平行に泳ぐことを原則とし、沖へ向かっては泳がせない。

また、帰りは行きのおよそ2倍の時間がかかることを児童生徒に周知させる。

#### <地域社会>

- 1 河川、用水堀、湖、沼、池、防火用水、溜池、砂利採取跡等の事故の発生が予想される箇所について、地元警察署、自治会、関係機関・団体等との連携のもとに総点検を行い、危険箇所については、防護柵、囲い、蓋や規制標識の整備等の安全対策を講じる。
- 2 河川等の指定水泳場には、必ず監視員を配置し、また、万一の事故に備えた救急対策、連絡系統を確立しておく。
- 3 夏季休業中は、特に巡回指導の強化を図るなど、事故の防止に万全を期する。

## II 登山、キャンプ、その他の自然環境下での活動（以下「自然環境下での活動」という。）の事故防止について

本県は、岩登りに格好の岩場や比較的気軽に入山できる山が多く、登山を直接の目的としないものも含めて、県内外から多くの入山者があり、これらによる事故の多発が懸念される。

また、自然環境下における活動は、不慮の事故に遭遇する危険もあるので、次の留意事項を参考にし、事故の防止に万全を期する。

- 1 経験豊富な指導者の指導のもとに、綿密周到な計画を立てて実施し、単独での行動や安易な思いつきによる無謀な活動は、厳につつしむ。
  - 目的地のコースや気象状況等を事前に調査し、参加者の体力や健康状態、経験等に応じた無理のない計画のもとに余裕のある日程で行動する。
  - 参加者の氏名、住所、行動予定、連絡方法等について保護者をはじめ、関係機関・団体等に周知徹底を図っておく。
  - 実施前には必ず準備会をもち、参加者の役割分担、装備計画、食料計画等について、安全確保の立場から万全の備えをする。
  - 動物、植物、鉱物採取など、ルールやモラルに反する行動をつつしむ。また、ゴミ等は全て持ち帰り、自然愛護の精神に徹して行動する。
  - 日帰りの計画であっても、同行者、行先、帰着予定時間等を家人に連絡してい

く。

2 登山（内容の一部に登山を組み入れたキャンプ等を含む。）を実施する場合には、上記1のほか、特に次の事項に留意する。

- （公社）日本山岳ガイド協会が運営する登山届受理システム「コンパス」を活用し、警察等の関係機関に計画内容の周知徹底を図っておく。
- 参加児童生徒の心身の発達、体力・技術の程度、これまでの山行等の経験の内容等を考慮した上で、目的の達成に適した山を選定し、行動は、指導者またはリーダーの統制のもとに、余裕ある日程で安全に実施する。
- 行動中は、絶えず参加者の健康状態や疲労の程度に注意をはらい、また、天候の急変等の状況を的確に判断し、場合によっては計画を中止するなどして、無理、無謀な行動をつつしむ。
- 下山後は、関係方面にその旨を報告する等の配慮をする。